

2009年

安全報告書

三岐鉄道株式会社

1. お客様をはじめ、地元の皆様へ

平素は当社の鉄道事業に格別のご理解を賜り、誠にありがとうございます。当社では、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全・安定輸送に努めております。

この安全報告書は、鉄道事業法に基づき、当社における鉄道輸送の安全を確保するための取り組みや安全の実態を広くご理解いただくために公表するものです。安全に、しかも安心してご利用いただくため、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

三岐鉄道株式会社
取締役社長 日比義三

2. 基本方針と安全目標

(1)基本方針

当社では、安全に関する基本方針を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

安全の確保は、輸送の生命である。
 規程の遵守は、安全の基礎である。
 執務の厳正は、安全の要件である。
 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先する。
 常に確認を励行し、連絡を徹底する。
 常に問題意識を持ち、改善に心掛ける。

(2)安全目標

2008年度には三岐線東藤原駅構内において列車脱線事故が1件発生しました。当社はこの事故を重く受け止め「再発防止策」を確実に実行するとともに、社長以下全員が次の目標達成に向けて取り組む所存です。

区分	項目	内容
定量的な目標	列車事故 (衝突・脱線・火災)	乗客の死亡を伴う事故の発生件数 0 件
	人身障害事故	発生件数 0 件
	踏切障害事故	発生件数 0 件

3. 事故等の発生状況と再発防止対策

(1)鉄道運転事故(列車衝突・列車脱線・列車火災・踏切障害・道路障害・鉄道人身障害・鉄道物損)において2008年度に発生した事故は、次の3件です。

列車脱線事故	発生件数
1件	1件
踏切障害事故	発生件数
2件	2件

・7月8日午前7時50分、三岐線東藤原駅構内15号イ分岐器にて、旅客列車が脱線しました。主原因は運輸安全委員会の調査により、左右車輪の摩耗量の差が規定値を超えたためアンバランスを生じ、分岐器にて乗上げ脱線に至ったものです。

・12月8日午前6時49分、三岐線朝明3号踏切道にて、落輪し立ち往生の乗用車に列車が衝突する踏切事故が発生しました。

・12月31日午前8時01分、三岐線保々4号踏切道にて、スクーターの直前横断のため列車に接触する踏切事故が発生しました。

3件とも幸いお客様、乗務員、乗用車運転手に怪我はありませんでしたが、長時間の列車運休、遅延により皆様に大変ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びいたします。

年度	2004	2005	2006	2007	2008
発生件数	0	0	2	1	3
死傷者数	0	0	1	0	0
(内、死亡者数)	0	0	1	0	0

(2)輸送障害(運休又は30分以上の遅延)

2008年度に発生した輸送障害は、次の10件で、内訳は以下のとおりです。

単位(件)

鉄道内原因					鉄道外原因		
係員	車両	土木	電気	その他	自然災害	踏切	その他
0	3	0	4	0	3	0	0

(3) インシデント（事故の兆候）

2008 年度に発生したインシデントは、0 件です。

(4) 行政指導等

2008 年度に受けた行政指導等は、1 件です。

（東藤原駅構内脱線事故による中部運輸局警告）

4. 輸送の安全を確保するための取り組み

(1) 人材教育

当社では、お客様の安全と輸送の安全に役立つよう、全国安全週間に先立ち、毎年 6 月、本社で「安全大会」を実施しています。外部講師を招いて講演会を開催するとともに、毎年 1 職場の持ち回りで安全活動発表を行い、職員の意識高揚に努めています。

(2) 異常時訓練

年末年始輸送安全総点検（毎年 12 月 10 日～翌年 1 月 10 日）の際、運転事故や災害を想定したり、信号故障時に安全輸送を行う訓練を実施しています。

(3) 安全のための投資と支出

2008 年度には、三岐線において近鉄富田駅の継電連動装置更新や北勢線において「藤川橋梁架替」をはじめリニューアル計画に基づく工事を相次いで実施したため、安全関連設備投資と修繕費の合計額が約 4 億 3 千万円（営業収入の約 27%）にのびりました。

2008 年度に実施した主な工事

〔三岐線〕

- ・電車代替購入工事（冷房電車 3 両 1 編成）
- ・継電連動装置更新工事（近鉄富田駅）
- ・レール・道床交換工事（富田、三里、東藤原他）

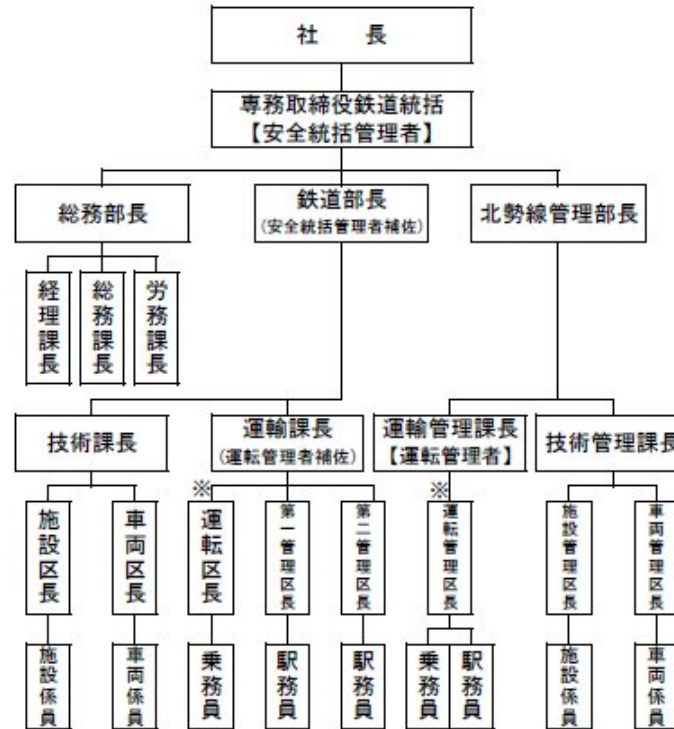
〔北勢線〕

- ・藤川橋梁架替工事（穴太～東員間）
- ・重軌条化工事（大泉～楚原間）
- ・曲線改良工事（在良～蓮花寺間）
- ・変電所増強工事（北大社変電所）
- ・車両冷房化工事（冷房電車 3 両）

引き続き 2009 年度にも、輸送の安全を確保するための設備投資と設備修繕を予定しています。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を結成し、各責任者の責務を明確にしています。



※：乗務員指導管理者

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
専務取締役鉄道統括 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
鉄道部長 (安全統括管理者補佐)	輸送の安全の確保に関する業務において安全統括管理者を補佐する
総務部長	輸送の安全の確保に必要な社内体制(資金・要員)を整備し、監査する
運輸管理課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、運転業務に関する事項を統括する
運輸課長 (運転管理者補佐)	安全統括管理者の指揮の下、運転業務に関して運転管理者を補佐する
運転区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する
運転管理区長 (乗務員指導管理者補佐)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関して乗務員指導管理者を補佐する

6. 安全対策工事等の記録写真



藤川橋梁架替工事(2008.12.7)



電車代替購入工事(2009.1.9)

7. ご連絡先

この安全報告書に関するご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。なお、ご連絡先は次のとおりです。

〒510-8014

三重県四日市市富田三丁目 22-83

三岐鉄道株式会社

TEL: 059-364-2141(代表)

FAX: 059-364-2145

URL <http://www.sangirail.co.jp>

E-mail soumu@sangirail.co.jp